
従兄弟のお下がり小説w

桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

従兄弟のお下がり小説w

【Nコード】

N0580Q

【作者名】

桜

【あらすじ】

従兄弟の桜が書いてたのをお下がりで書き初めさせられて・

あゝめんどい

一人目 真人の章

一人目 真人の章

中学校に通う真人は内気な少年で友達もいなくボロい家で一人p
cで物語を作っていた。あの大型台風が来るまでは．．．
その台風が来た時彼はいつものようp cで物語を作り始めたとき
だった。そして彼は消えた

真「ここ．．．どこ？」

？「ヨウコソゲストサマ。ココハマダツクラレテイナイモノガタ
リ。」

真「ふう〜ん。で、お前誰？あとどうでもいいけど読みにくいか
らひらがな使え」（さすがはp cの中だ。我ながらよくしゃべる。

？「ワタシハココノ——」

バコツ

真「ひらがな使えよ」

？「すすいませんワタシハ——」

．．．うつ

真「で、だれ？」（この中だと妙に体が動きやすい

？「私はこのガイドをやらしていただいてるユキと申します。
．ぐすつ。あなたはここの中では何にでもなれます。」

真「どうやらヤマトに出れる？」

ユ「えーっと．．．あつ外部から何かしらの衝撃があればこの扉
が開いて外に出れますよwww」

真「オワタ。このパソコン俺しか使えねーもん」

ユ「でしようねww」

真人は銃をイメージした．．．シューガチャ。真人は銃を構えた。
真「次余計な事言ったら頭飛ぶよ？」

ユ「外の世界で威張れないからって・・・うつすいません」

真「次はほんとに撃つ」

ギギイー

二人「!？」

突然扉が開きまばゆい光が・・・来ない。普通に開いちゃったよ・・・

二人目 ひろかの章

ひろかはどこを取っても至って普通な中学生。親友の愛李にしか言っていないが、同じクラスの真人のことが好きだ。

ひろかは小4の頃に同じクラスだった零にpcの使い方をハッキングまで（性格にはクラッキングと言うらしいが）教えてもらった。覚えの良いひろかはすぐにクラッキングまでマスターした。（犯罪ですから絶対に真似しないこと！！！！）

そしてこの前ついに真人のpcには入れた！いろいろ見てると小説のようなものがよくちよく出てきた。あまり小説は好きではないのでその日は気にしなかったが、ある日暇だったので軽く読んでみたら、とても面白かったのだ。

まあその話はさておき、今台風が来ていて、またすることが無いので真人のpcに入って新しい小説を探していた。

ひ「っとこれ新しいのかな？前まで無かったような？まあ開いて見よう。」

『真「ここ・・・どこ？」

？「ヨウコソゲストサマ。ココハマダツクラレテイナイモノガタリ。」

真「ふうん。で、お前誰？あとどうでもいいけど読みにくいからひらがな使え」（さすがはpcの中だ。我ながらよくしゃべる。

？「ワタシハココノ——」』

ひ「なんかおかしい。いつもの描き方と違うし会話みたいだ」

『真「どうやらヤトに出れる？」

ユ「えーっと・・・あつ外部から何かしらの衝撃があればこの扉

が開いて外に出れますよwww」

真「オワタ。このパソコン俺しか使えねーもん」

ひ「もしかして「真」って真人君のことかな？外部からの衝撃で出れるって事は・・・」

ひろかはpcをいじり始めた。30秒くらい経ったとき、画面から電子音が聞こえた。

ピーガチャ

ひ「!？」

目を開けると目の前に真人が立っていたああ。私死んだのかなあ
と思った。

三人目 愛李の章（前書き）

もとの小説 ←

o / <http://ncode.syosetu.com/n7508>

三人目 愛李の章

愛李は美人のお嬢様だが、気取らない中学生。どこかの大手会社の娘さんらしいが、柔道二段、空手初段、剣道三段を持っていて、スポーツなら何でもこいつて感じだけど頭は少し悪い。ってかいわゆる天然？んで、ひろかにしか言っていないが、三年の生徒会長かなめ先輩が大好きだ。朝会などで見ただけでばぁーっとなるほどだ。
(よくわかりませんちゃんと説明してください)

とりあえず今はひろかの携帯に電話をかけてるんですが、全然繋がりません。寝てるのかな？台風で暇だから長電話してみようと思っただのに・・・。

四、五人目 かなめ零の章

かなめは生徒会長を務める美男子で、どこかの国の王子様らしい。この人は二つの顔を持っていて一つは普通の人たちに振舞う優しい笑顔。そして裏の顔は零（零じゃなくてゼロだからなあ）ここテストに出るぞ（「嘘」）などの自分に敵意を持つ人たちに見せる顔。あつとそうそうで、零って言うのがかなめのことが嫌いでいつも戦いを挑んでるやつ。まあ1秒とかからず沈滅されるけど・・・こんな感じで←

零「おいかなめ俺と勝b」
ドカーン

って感じ？www（いや何があつた？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0580q/>

従兄弟のお下がり小説w

2011年1月16日02時23分発行